

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-500094 (P2005-500094A)

【公表日】平成 17 年 1 月 6 日 (2005.1.6)

【年通号数】公開・登録公報 2005-001

【出願番号】特願 2003-501318 (P2003-501318)

【国際特許分類】

A 4 7 K 7/00 (2006.01)

A 6 1 K 8/02 (2006.01)

A 6 1 K 8/00 (2006.01)

D 0 4 H 1/54 (2006.01)

D 0 4 H 3/00 (2006.01)

D 0 4 H 3/16 (2006.01)

【F I】

A 4 7 K 7/00 B

A 6 1 K 7/00 L

A 6 1 K 7/00 W

D 0 4 H 1/54 Q

D 0 4 H 3/00 D

D 0 4 H 3/16

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 5 月 16 日 (2005.5.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

使用者の皮膚または毛髪の拭取りに適した多数の吸脂性脂取りシートのパッケージであって、この脂取りシートは、50～100パーセントの保脂率パーセントを有し、熱可塑性材料の吸脂性多孔質フィルムを含み、65未満の透明度を有し、脂が負荷された時に透明度が変化する、前記多孔質フィルムが、中間脂不浸透性層またはフィルムを伴わずに、直接に1つの面に脂汚染可能層を有する、吸脂性脂取りシートのパッケージ。

【請求項 2】

前記脂汚染可能層がマクロ多孔質層またはパターンコーティング層である、請求項 1 に記載の吸脂性脂取りシートのパッケージ。

【請求項 3】

前記脂汚染可能層が乾燥粉末である、請求項 2 に記載の吸脂性脂取りシートのパッケージ。

【請求項 4】

前記脂汚染可能層が不織ウェブである、請求項 2 に記載の吸脂性脂取りシートのパッケージ。

【請求項 5】

前記不織ウェブが、10～100g/m²の坪量を有し、脂取りシートに断続的に接着され、その接着面積が1～50パーセントである、請求項 1, 2 または 4 に記載の吸脂性脂取りシートのパッケージ。

【請求項 6】

前記多孔質フィルムの単位面積あたりの間隙容量が、次の等式：

単位面積あたりの間隙容量 = [フィルム厚さ (c m) × 1 (c m) × 空隙率 (%)] / 100 (式中、空隙率は、多孔質フィルム中の空隙のパーセンテージである)

によって計算された場合、0 . 0 0 0 1 ~ 0 . 0 0 5 c m³ の範囲内にあり、前記多孔質フィルムの空隙率が 5 ~ 5 0 % の範囲内にあり、フィルムの厚さが 5 ~ 2 0 0 μ m の範囲内にある、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の吸脂性脂取りシートのパッケージ。

【請求項 7】

前記多孔質フィルムが、20 ~ 60 パーセントの非微粒子充填剤を含む熱可塑性多孔質フィルムを含む、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の吸脂性脂取りシートのパッケージ。

【請求項 8】

前記多孔質フィルムの空隙が、0 . 2 ~ 5 . 0 ミクロン (μ m) の範囲内の平均サイズを有する、請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の吸脂性脂取りシートのパッケージ。

【請求項 9】

前記脂汚染可能層が泡立て界面活性剤である、請求項 1 ~ 3 及び請求項 5 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の吸脂性脂取りシートのパッケージ。